

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

江別市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道江別市

### 3 地域再生計画の区域

北海道江別市の全域

### 4 地域再生計画の目標

江別市は、2005年をピークに人口が減少しており、第1期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定前の2014年と2019年の人口（10月1日住民基本台帳登録者）を比較しても、825人減少している。

2015年度に策定した「江別市人口ビジョン」の国立社会保障・人口問題研究所準拠推計では、2040年の江別市の人口は約96,000人、2060年には約70,000人に減少する一方で、高齢者人口比率については、2019年の約30%から、2040年には約41%、2060年には約47%まで上昇すると推計しており、今後も少子高齢化を背景に人口減少が継続すると考えられる。

江別市の主な人口の減少要因は、少子高齢化の影響による自然減である。年間出生数は減少傾向で、2014年から2019年にかけて50人減少している一方、年間死亡数は増加傾向で2014年から2019年にかけて214人増加している。それらの影響により、2019年の自然減は694人まで拡大している。社会増減は、2014年は117人の転出超過であったが、2018年は715人の転入超過となり、転出超過から転入超過への転換が実現した一方で、大学卒業後の就職等により、市外への20代の市民の流出に歯止めが掛かっていない状況にあり、第2期江別市総合戦略へ向けての大きな課題であると考えられる。

この傾向が続き人口の自然減が拡大し続けると、生産・消費など地域経済活動の深刻な停滞、税収減による公共部門のサービス・社会基盤整備等の著しい縮小など、

地域の社会を支える重要な機能が危機的な状況に陥る恐れがある。

これらの課題を解決するためには、地域で「ひと」を創り、その「ひと」が「しごと」を創り、さらに「まち」を創るという好循環を確立させなければならない。

そのために、市内に4大学が立地し約10,000人の学生が在籍していることと、大都市札幌に隣接した立地を江別市の地域特性と捉え、これらの特性を生かした地域再生を図る事業を展開し、市民の出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげるほか、子育て世代の移住や学生の卒業後の地域定住就業の促進などにより社会増を維持する。

なお、以下の事項を本計画の基本目標に掲げ、目標の達成に取り組む。

- ・基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
- ・基本目標2 えべつへの新しい人の流れをつくる
- ・基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ・基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### 【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内企業へ就職した市内の新卒者数（高校・大学）	46人	55人	基本目標1
イ	人口の社会増数	715人	1,000人	基本目標2
ウ	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	50.0%	55.0%	基本目標3
エ	江別市が暮らしやすいと思う市民割合	78.5%	83.0%	基本目標4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

### ○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

江別市まち・ひと・しごと創生事業

- ア しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす事業
- イ えべつへの新しい人の流れをつくる事業
- ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる事業
- エ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

#### ② 事業の内容

- ア しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす事業

就職を希望する高校生に対する就職支援、市内企業へのインターンシップや企業説明会の開催、新たな地域資源の活用や情報発信を強化し観光誘客の拡大、観光人材の育成や推進体制の確立、海外での食品販売フェア、海外バイヤーを対象とした商談会、新商品開発支援等、しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす事業。

- イ えべつへの新しい人の流れをつくる事業

情報発信の仕組みを充実、効果的なシティプロモートの推進、市内大学や他自治体と連携した市内大学生の地域定住就業の促進、札幌市など道央圏からの観光誘客の促進、北海道と連携した東京圏からの移住支援等、えべつへの新しい人の流れをつくる事業。

- ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる事業

保育園や企業主導型保育施設の開設促進、保育従事者の養成や人材の確保、留守家庭児童の放課後の生活の場の確保等、子どもを産み育てやすい環境づくりのほか、就労相談、就職支援セミナー、中高年齢者等を対象とした新規就業研修、外国人就労者等への生活サポート等、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる事業。

## **エ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業**

さっぽろ連携中枢都市圏の自治体と連携した首都圏での地域PRイベント等の実施、家庭や学校・職域・地域などでの健康増進活動の推進、生活習慣病の重症化予防や食育活動の推進、運動習慣の定着や生涯学習活動の推進、江別版「生涯活躍のまち」構想の推進等、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業。

※ なお、詳細は第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

### **③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

### **④ 寄附の金額の目安**

170,000千円（2020年度～2024年度累計）

### **⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度6月頃に外部有識者による効果検証のほか、議会でも所管委員会により効果検証を実施する。効果検証後速やかに江別市公式WEBサイト上で公表する。

### **⑥ 事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

## **5-3 その他の事業**

該当なし

## **6 計画期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで